

せいけん
詩集

第百四十六篇

作：近藤せいけん

「仲間」

いつも 定期的に会う仲間
もうすでに 還暦を過ぎた

元気者の仲間

青春時代を同じ学校で過ごした

青春時代を同じ空気を吸った

青春時代を同じ学食を食べた

青春は歳でなく 心の持ち方

会えば いつも青春

笑顔が絶えない

いつも 定期的に会う仲間

心許せる 楽しい仲間

昭和の時代を共に過ごした

昭和を懸命に生きた

昭和は静かに 遠ざかり

寡黙になった

青春は歳でなく 心の持ち方

会えば いつも青春

微笑が絶えない